

平成 30 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパⅡ・准教授
氏名 Name	石黒 暢
専門分野 Academic Field	社会福祉学・社会政策論

主たる研究テーマ Principal Research Subject	北欧と日本の高齢者介護に関する実証的研究
<p>研究代表者をつとめる科研採択課題「福祉ガバナンスと介護労働の変容に関する国際比較研究」(基盤(B))では、昨年度に引き続き、日本や欧州の高齢者介護の市場化に伴う福祉ガバナンスの変容について分析し、それが介護労働にどのようなインパクトを与えているかについて研究を進めた。その成果の一部は、共編著をつとめた下記の著書の出版につながった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『市場化のなかの北欧諸国と日本の介護ーその変容と多様性ー』(共編著) 2018年12月10日, 大阪大学出版会, 齊藤弥生・石黒暢編. <p>研究分担者をつとめる科研採択課題「ソーシャルワークの実践理論形成に関する実証的研究: 事例を通じた地域・国際比較研究」(基盤(B), 研究代表者: 上野谷加代子)においては、デンマークの地域福祉実践の調査を行い、参加と協働による生活課題の解決を目指す実践の分析を行った。</p> <p>研究分担者をつとめるもう一つの科研採択課題「持続可能な介護保障と制度「外」介護の展開に関する国際比較調査」(基盤(B), 研究代表者: 齊藤弥生)では、従来の介護関連給付の「外」に展開されている制度「外」介護の拡大に着目し、異なる福祉レジームを持つ日本・英国・ドイツ・北欧の動向について横断的な実態調査を行うための基礎研究を進めた。具体的には、ドイツにおいて高齢者介護調査を行った。調査結果の分析は来年度に継続して進める予定である。</p> <p>これらの研究の成果の一部は、ISA(国際社会学会)(7月15日~21日、於 トロント)、社会政策学会(9月15日~16日、於 北海学園大学)、日本介護福祉学会(9月1日~2日、於 桃山学院大学)において報告した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Makiko Morita, Nobu Ishiguro, Jeppe Agger Nielsen & Jon Aaen, “The nursing home of the future: Transformation from showroom of technology to homey environment”, XIX ISA World Congress of Sociology, Metro Toronto Convention Center (Canada), July 20th, 2018. ・「高齢者介護における福祉用具給付ー個別ニーズの視点から」, 日本介護福祉学会第26回秋季大会, 2018年9月2日, 於 桃山学院大学. ・「書評報告『トヨタ研究からみえてくる福祉国家スウェーデンの社会政策』(猿田正機著, ミネルヴァ書房, 2017年)」, 第137回社会政策学会, 2018年9月15日, 於 北海学園大学. <p>また、3件目の学会報告に基づいた書評が社会政策学会誌に掲載された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書評 猿田正機著『トヨタ研究からみえてくる福祉国家スウェーデンの社会政策』, 2019年3月30日, 『社会政策』第10巻第3号, pp. 143-146. 社会政策学会. 	